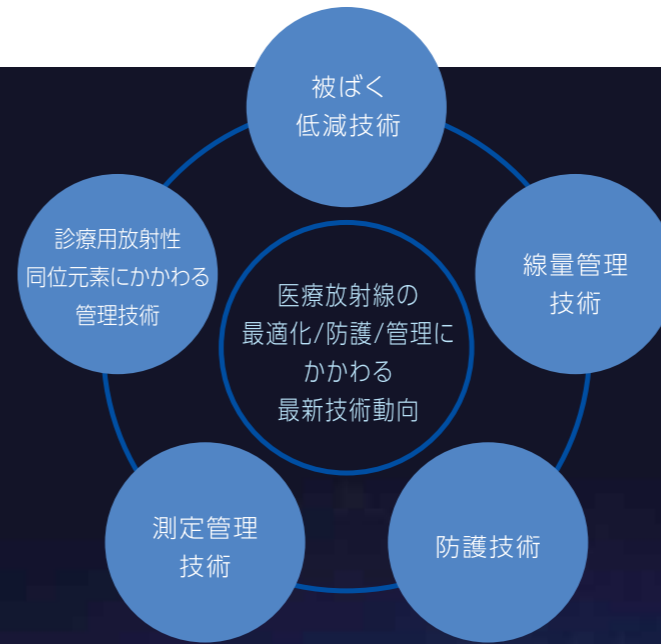


募集のご案内



2019 国際医用画像総合展  
The International Technical Exhibition of  
Medical Imaging 2019  
日程：2019年4月12日(金)～14日(日)



**ITEM 2019** April.  
12(FRI)～14(SUN)

ITEM 2019で、JIRAは「医療放射線管理」を  
特定テーマとして取り上げます。

来場者が関連機器・技術に関する情報を効率よく入手できるよう  
展示コーナー、プレゼンテーションブースを設け、  
出展・発表企業と容易にコンタクトできる環境を提供します。  
ぜひご参加くださるようお願い申し上げます。

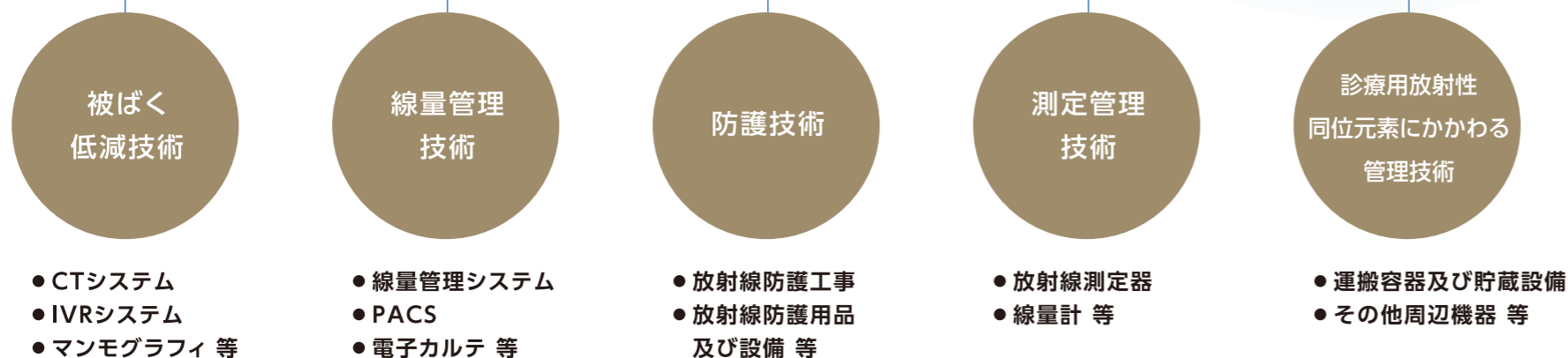
**JIRAブースへの出展  
プレゼンテーションへの参加**



特定テーマに沿った技術がJIRAブースに集結。  
来場者へのプレゼンテーションも効果的です。

特定テーマ

# 医療放射線の 最適化/防護/管理に かかわる最新技術動向



JIRAは、被ばく管理に関する課題への取り組みなどを通じ、医療機器産業の発展に寄与しています。

診察や治療に貢献する医療放射線にはリスクも存在します。そのリスクを抑止するため、国際放射線防護委員会(ICRP)は「正当化・最適化・線量限度」の「放射線防護3原則」に基づく勧告を多数発信しており、多くの先進国が規制に取り入れています。日本でも「医療被ばく研究情報ネットワーク(J-RIME)」が行政、医療従事者、医療機器メーカー、放射線防護の専門家などの力を結集し、医療被ばく問題に取り組んでいます。私たち日本画像医療システム工業会(JIRA)は、医療放射線に関連するさまざまな企業を代表して「J-RIME」に参画しており、ITEM2019では医療放射線の防護および管理に関する最新技術動向を紹介する予定です。

## 被ばく低減をめぐる最新動向

JIS Z 4716告示 (2018.3.20)  
「X線診療室の漏えいX線量の測定方法」

医療法改正 (2020年4月施行予定)  
「医療放射線に係る安全管理」義務化

診療報酬改定 (2018年度)  
「画像診断管理加算3 等」

眼の水晶体線量管理に関する  
規制の見直し

「小児画像診断における放射線被ばく  
リスクの伝え方」ガイダンス (WHO)

DRL (Diagnostic Reference Level) :  
診断参考レベルの利用

海外動向:  
・ RDSRの国際規格化  
・ Image Gentry  
・ IAEA提案の個人の線量管理  
Smart Card/Smart Rad Track プロジェクト

## 特定テーマ 展示

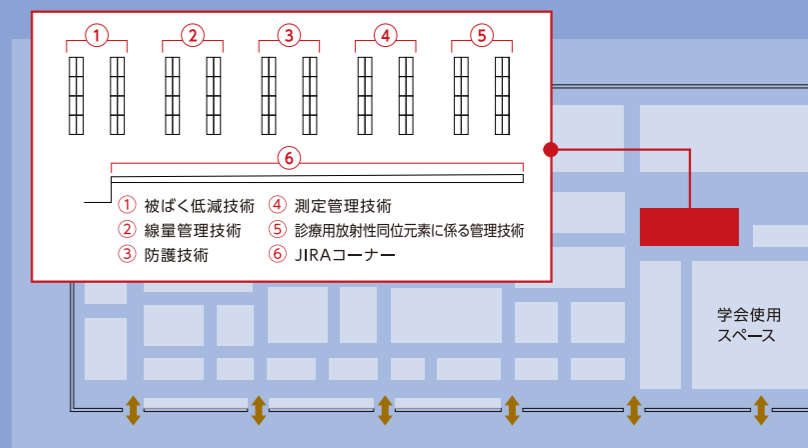
今回のテーマに沿った展示が行えます。被ばく低減技術、線量管理技術、測定・防護技術など、医療放射線の適正管理、職業被ばく測定・防護にかかわる最新技術の紹介などにご利用いただけます。

会場: JIRAブース内の特定テーマブース

出展内容: 特定テーマに沿ったもの

参加料: 幅2m 会員 21,600円/非会員 32,400円 (消費税含む)  
幅1m 会員 10,800円/非会員 21,600円 (消費税含む)

- 出展社は ITEM 2019 出展企業に限ります。
- 小間割りは展示委員会にて抽選で決めさせていただきます。
- 応募社多数の場合は展示委員会にて抽選で決めさせていただきます。



※ ブースレイアウトは変更する場合がございます。

## 募集内容

## 特定テーマ プレゼンテーション

テーマに沿ったかたちで、医療放射線の適正管理にかかわる被ばく低減技術、線量管理技術などをステージから直接、聴衆にアピールしていただけます。

会場: 特定テーマプレゼンテーションコーナー

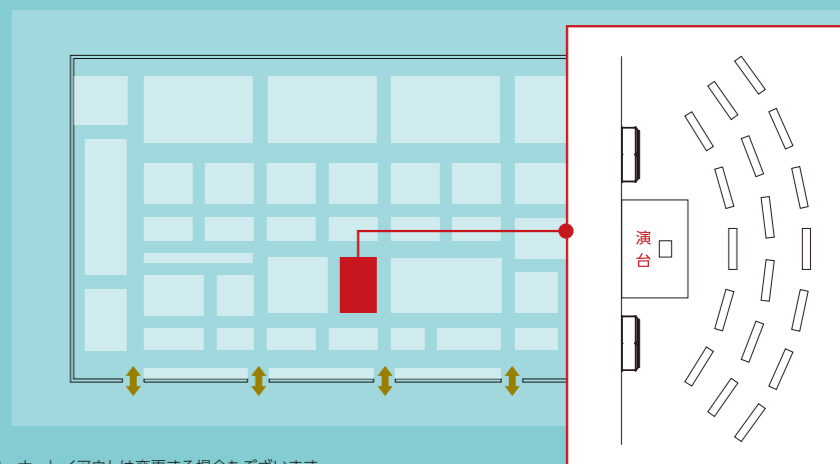
演題内容: 特定テーマに沿ったもの

演題時間: 1演題 15分

参加料: 会員5,400円/非会員7,560円 (消費税含む)

日時: 4月12日(金)10時~12時/13日(土)10時~12時/14日(日)10時~12時

- 発表社は ITEM 2019 出展企業に限ります。
- 希望日・発表時間帯は展示委員会にて振り分けさせていただきます。
- 応募社多数の場合は展示委員会にて抽選で決めさせていただきます。



※ コーナーレイアウトは変更する場合がございます。